

研究開発投資の戦略的評価・選別と専門職のモチベーションの維持

研究の概要

現代において、戦略的研究開発投資の重要性が広く認識されています。研究開発投資における希少資源の有効活用が戦略遂行上ますます重要な課題となっているためです。

一方で、研究開発投資は長期にわたるため、成果が短期的には見えづらく、不確実です。さらに研究開発を行う専門職の方々は、自分が専門的に取り組んできた分野の研究開発が組織の意思決定によって切り捨てられるとなるとやる気をなくしたり、反発したり、時には離職したりすることもあります。

本研究では、専門職の方々のやる気を削いだり抵抗する行動を招いたりといったコンフリクトを起こすことを最小限に抑えつつ、採算性の取れる研究開発の評価方法を含め、長期的な意思決定を成功に導くことを目的としています。

研究の特徴

現代では、長期的な意思決定案件であっても事前の適切な評価方法の構築と、それがうまくいっているのかという要所所でのチェック体制が必要とされています。一方、そのような長期的な意思決定を実行するために要求される知識や技術水準などは非常に高度化し、専門的な人材の戦略的活用が不可欠になっていると言われます。そのための理論はすでに経営学の中にあります。

限りある経営資源をいかにして活用し、意思決定案件を戦略的に成功に導くかを解決するガイドになればと考えています。

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

日本公認会計士協会・医療組織など専門職組織と共同で専門職の意識調査を行った例があり、やはり専門職のモチベーション維持には課題がありました。その点を踏まえ組織の意思決定の評価方法を模索中です。

研究者からのメッセージ

地域・社会の発展のためにはイノベーションが不可欠です。しかし立ちはだかるハードルは高いです。そのハードルを飛び越えるお手伝いできれば、と考えています。

研究分野 : 管理会計論, 専門職のマネジメント

研究者の所属部局・職位・氏名 : 和歌山大学経済学部 経済学科・准教授・藤原靖也

本件に関するお問い合わせ : liaison@ml.wakayama-u.ac.jp